授業科目名[英語名]							
職業人と実践倫理[Practical ethics in professions]							
担当教員名[連絡先(TEL,研究室など)]							
門久義[099-285-8271]							
E-Mail	kado@mech.kagoshima-u.ac.jp		受講対象	全			
課程区分	共通教育	学科/科目・分野等	教養 人間	開講期	前期木曜２	単位等	2
共同担当教員名							
種村完司ほか１０名							

教育目標のキーワード

社会的貢献意識/視野･判断力･探求能力

学習目標 (学生の達成　目標)

本講義は、共通教育の教育目標「１．自立心と公共心を育み、社会貢献意識を涵養します。」と「２．思考過程を重視し、『多面的視野』、『総合的判断力』、『課題探求能力』を涵養します。」を担う科目として開設されています。本講義では、①職業人が直面している社会の様々な問題とそれに対してどのような対応があるかを知り、②様々な分野での職業観や倫理観を理解し、③生きることの意義や使命感を認識するとともに、④学生諸君が自分自身の生き方と使命および将来の目標を考える機会と勇気を得ること、を目標としています。

授業概要 (目的･内容･方法)

本講義は、普遍的な「真・善・美」を追求する、いわゆる哲学的な倫理ではなく、現代社会の職業人が職務を遂行する際に直面する諸問題を正当に判断し対処するために必要な倫理的判断やその規範について、具体的に講述する。社会で活躍されている専門的職業人が講師となり、それぞれの職業・分野において直面する倫理問題などを具体的・体験的に聴くことができる。

授業計画 (15回に分けて、回数、日付、授業内容、授業外活動など)

各講義の題目と担当教官を以下に示す。なお、講義の順番は、変更することがある。

１	日本社会における倫理	種村　完司	教育学部教授
２	教師の仕事とモラル	神田　嘉延	稲盛アカデミー特任教授
３	農林技術者と倫理を考える	藤田　晋輔	鹿児島大学客員教授（鹿児島大学名誉教授）
４	文章表現と倫理関連問題	門　　久義	工学部教授
５	ものの捉え方と表現	福原　健一	ＮＨＫ鹿児島放送局放送部長
６	実務法律家と倫理	柿内弘一郎	アーバンリバティス法律事務所代表弁護士
７	農業生産における倫理	有川　唱次	JA鹿児島県経済連安心安全システム推進事務局長
８	医療における倫理	村田　長芳	鹿児島医療技術専門学校・平川校副校長
９	水産技術者と倫理	永松　哲郎	水産学部教授
１０	企業に求められる哲学と倫理	奥　健一郎	稲盛アカデミー教授
１１	新聞記者に求められるもの	光安　善樹	南日本新聞・編集委員
１２	技術者と倫理	門　　久義	工学部・教授
１３	学生生活における倫理	門　　久義	工学部・教授
１４	総括「みんなで考えよう」	門　　久義	工学部・教授

受講要件	なし		
評価基準および方法	講義形式で進めます。講義の終了前に講師から与えられた課題について、講義で得られた知見や自身の考えに基づいて考察し、授業終了時までにミニッツペーパに記載して提出します。ミニッツペーパの評点は、課題に対する適切な判断力と自分自身の問題認識度に応じて、A（95点）、B（85点）、C（75点）、D（65点）、E（30点）、F（未提出／0点）とします。２／３以上出席した者について、未提出を含む全レポートの評点の平均点で総合評価します。		
教科書	なし	**参考書**	講義内容に応じて、講師から授業時間中に関連する参考書の紹介や資料の提供があります。
授業時間外対応(オフィスアワー、授業後、学習シートなど)	【オフィスアワー】門（授業の始めに提示する）【メール・HP】門（kado@mech.kagoshima-u.ac.jp）【授業後】質問などを受け付けます。【その他】メールで質問等を受けた場合、担当者に依頼して回答を得て、適宜、返答致します。	**その他**	現代社会における実践的な倫理を扱う科目ですから、受講態度についても、真剣に取り組むことを要求します。大幅な遅刻、早退などは認めません。